

第2回伊豆の国市公共施設再配置計画審議会資料に関する意見聴取の結果

資料3-1

(1) 第1回公共施設再配置計画審議会における修正事項について

No.	意見の内容
1	議題(1)の①～③については事務局案にて問題ない。
2	資料1-1 3ページ 上から9行目 「今回の見直しでは「延床面積の削減」だけでなく、建物の耐用年数、利用ニーズ、施設の運営状況などを踏まえた「施設の有効活用」にも重点を置くこととし～」 → 市民の目線に配慮したことは良いことだと思う。
3	資料1-1 3ページ 上から8行目 「施設を廃止することは現実的ではない」という表現だと、現計画がありえないことを計画していたというニュアンスがでてくるため、言い換えをした方が良いと思う。 上記を踏まえた、書き換え例： 「安全に施設の利活用が可能であると見込まれる段階において、施設を廃止することは早計である。」

(2) 答申書(案)について

No.	意見の内容
1	2枚目の上から5行目の文章に下線部を追加してはどうか ～「施設の有効活用」にも重点を置くこととする。また、時の社会情勢へも敏感に反応していく必要がある。(※感染症など流行による、社会情勢の変化にも敏感に反応する必要がある。)
2	2枚目の下から7行目の文章に下線部を追加してはどうか このことから、公共施設等総合管理計画における延床面積25%の削減目標は市が目指すべき目標として継続するが、更に社会情勢や市民ニーズに変化が生じた場合には柔軟に計画を見直す必要があると考える。
3	『再配置後の取組みにおけるPDCAのCheck(評価)については「前年までの再配置の実施状況を市民へ公表する」ことにより進捗の管理を行い、必要に応じて計画を見直しすることとする』という記載について、これからの世の中は不確実性が高いため、絶えずPDCAサイクルで見直ししていくことは良い。
4	◆2ページ 下から9行目 「現段階」という表現、「現」は無い方が良いと思う。 2ページ 下から9～8行目 「施設を廃止することは現実的ではない」という表現だと、現計画がありえないことを計画していたというニュアンスがでてくるため、言い換えをした方が良いと思う。 上記を踏まえた、書き換え例： 「安全に施設の利活用が可能であると見込まれる段階において、施設を廃止することは早計である。」 ◆3ページ 9～10行目 「個別に評価できるものではない。」と言い切ってしまうと、現計画はできないことを記載していたことになると思う。 言い換え例： 「適切な個別の評価は困難であることが、進捗管理の過程で判明した。」
5	2 上位計画との関係 「・・・一方で、再配置計画における取組の中では、財政的な効果のみに着目するのではなく、個々の建物の築年数や構造等のハード的な側面、施設を通じて提供される行政サービス(事業)の面、立地適正化計画や都市計画マスタープランなど、立地する地域の環境等に注目して、再配置の検討を進める必要がある。」 等を入れられると、都市計画的視点やこれから進める官民連携のまちづくりの取組みも考慮しての取組みになって良いかと思います。